

デモ・ソングおよび作曲者のプロフィール

Epic Passage

Scott Tibbs (スコット・ティブス)

© 2000 Roland Corporation

スコット・ティブスは演奏家/指揮者として、アトランタ交響楽団など、数々のオーケストラでの演奏経験を持つ。全米各地はもとより、カナダ、中南米そして日本にも演奏旅行をしている。

演奏/指揮だけでなく作曲も数多く手がけ、映画音楽はもとより劇場やTV用の音楽、コンサートのための音楽など、その範囲は幅広い。

UCLAで作曲分野の博士号を修得。最近では、彼の作曲した曲をクレア・フィッシャー (Clare Fisher)、ビル・ホルマン (Bill Holman) とともにレコーディングした。ディジー・ガレスピー (Dizzy Gillespie)、ビル・コスビー (Bill Cosby)、ジェリー・シーンフェルド (Jerry Seinfeld) やボビー・シュウ (Bobby Shew) など数多くの有名アーティストとも共演している。

A Better Day

Igor Len (イゴール・レン)

© 2000 Roland Corporation

4歳でピアノを始めたピアニスト兼作曲家。名門モスクワ・チャイコフスキー音楽学校 (Moscow Tchaikovsky Conservatory) の Performing Arts において博士号を取得し、同校を卒業した後、ポップスのキーボーディストとしてアジア、ヨーロッパ、米国を演奏旅行した。

サンタナ・バンド、ドゥービー・ブラザーズ、J・テイラー、B・レイット、T・ドルビーなどのツアーに参加した後は、米国に移り、現代バレーからダンス・リミックスに至るバラエティーに富んだ音楽を作曲している。

1994年にRoland Corporation USに入社以来、数々のローランド製品の音楽やサウンド作りに貢献している。

Xtra Vaganza

Hans-Joerg Scheffler (ハンス・ユルグ・シェフラー)

© 2000 Digital Audio Design

ドイツ最大の工業地域であるルールバレーに生まれ育ったこともあり、ごく自然に騒音やリズムが彼の生活の一部となった。現在、DIGITAL AUDIO DESIGNというサンプリング用CDやCD-ROM制作を手がける会社を経営。これまでプロ音響製品スペシャリストとして、エクспанション・ボードのサウンド・デザイナーとして、製品デモ曲の制作者としてさまざまな形でローランドに協力してきており、ローランドRSSシステムを使ってレコーディングしたCDもいくつかリリースしている。

彼の作品クリップは以下のURLでダウンロード可能。

<http://www.united-sound.com/usmaster/cell2downde.htm>

これらのデモ・ソングを個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。

機能の追加および変更について

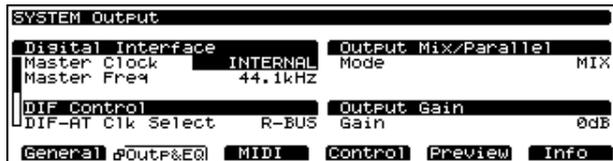
XV-5080 の機能改善のため、いくつかの機能の追加と変更点がございます。

つきましては、「XV-5080 取扱説明書」の該当ページを次のように変更させていただきます。

P.119

「R-BUS を使用したデジタル接続」

SYSTEM Output 画面を次のように変更し、システム・ゲイン・パラメーター (Gain) が追加されます。



Output Gain (アウトプット・ゲイン)

Gain (ゲイン)

設定値: -12, -6, 0, +6, +12 dB

XV-5080 のアナログ・アウトとデジタル・アウトの出力ゲインを調整します。発音するボイス数が少ない場合などは + 方向に出力ゲインをブーストすることで、録音時などに最適な出力レベルを得ることができます。

P.184 Warning ウィンドウ および文章 (下線部) の変更

CD-ROM 等のデータを上書きロードする場合に、音色名の表示が追加されます。

12. [F6 (Load)] を押します。

Volume/Performance/Patch のファイルを選んだ場合は、「ユーザー・グループに上書きしてもいいですか?」という内容のメッセージと上書きされるユーザー・グループのPATCH/パフォーマンスのナンバーおよびネームを表示したウィンドウが表れます。



13. 上書きして読み込むときは、[F6 (OK)] を押します。
ユーザー・グループ内の空いているところに読み込むときは、[F5 (NxtUsr)] を押します。

[F5 (NxtUsr)] を押したときにユーザー・グループ内に空きが無い場合は、「User Performances(Patches) Full Choose User location and OK to overwrite」と表示されます。

P.194、198 「データを保存する」

操作手順 6 の Sample Type ウィンドウを Save what from SIMM? ウィンドウに変更し、パラメーターのみセーブできる機能が追加されます。



Save what from SIMM?

WAV + PARAMETERS: 本体の設定をすべて保存します。また、SIMM にロードされているサンプルは WAV 形式で保存されます。

AIFF + PARAMETERS: 本体の設定をすべて保存します。また、SIMM にロードされているサンプルは AIFF 形式で保存されます。

PARAMETERS ONLY: 本体の SIMM にロードされているサンプルのウェーブ・データ以外の設定をすべて保存します。

「PARAMETERS ONLY」でセーブを行った場合は、ウェーブ・データそのものは保存されません。ウェーブ自体の保存も行う「WAV + PARAMETERS」または「AIFF + PARAMETERS」でセーブを行った後、XV-5080 で音色をエディットし、再度同じメディアにセーブする場合などは「PARAMETERS ONLY」でセーブを行うと短時間で保存できます。新たに CD-ROM 等からデータをロードした場合は、ウェーブ自体のセーブも行う「WAV + PARAMETERS」または「AIFF + PARAMETERS」でセーブを行ってください。

[F5 (FULL)] か [F6 (Quick)] を押すと、保存が実行されます。

[F5 (FULL)]: SIMM にロードされているサンプルをすべて保存します。記憶装置内のサンプルはすべて上書きされます。

[F6 (Quick)]: 記憶装置に対して増減のみの保存を行います。セーブを行う ZIP 等の外部記憶装置のフォルダーやメモリー・カード内のサンプルと、XV-5080 の SIMM にロードされているサンプルの各々のサイズと名前の比較を行い、新たに追加されたものや置き換えられたもののみを保存します。また、SIMM にロードされていないサンプルが、セーブを行う外部記憶装置のフォルダーやメモリー・カード内にある場合は、記憶装置からそのサンプルを消去します。